

強度行動障害がある方の生活支援を考える研修会 挨拶

強度行動障害がある方の生活支援を考える研修会の動画をご覧くださいありがとうございます。

京都府障害者支援課の大同でございます。

強度行動障害がある方への支援について、地域の関係者の皆様におかれましては日々ご尽力いただいているところであり、厚く御礼申し上げます。

京都府では知的障害、発達障害等により生活上の困難さが生じている方が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、平成29年度から京都式強度行動障害モデル事業を実施しております。

本事業では、現在関わっておられる支援者の支援の方向性をより良いものとするため、御本人に一定期間、事業実施法人の入所施設での集中支援及びコンサルテーション支援を実施し、御本人の再アセスメントを行い、支援者へフィードバックを行っています。

本日の研修会は、本事業で行った支援の事例や考え方を共有し、動画を閲覧していただいた方が自らの支援に活かしていただくことを目的としています。

なお、研修会は平成30年度から始まり、今年度で4回目となります。昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、動画の掲載という形式をとっておりますが、昨年度は、障害福祉サービス事業所、学校関係者、行政など100以上の法人・事業所から応募があり、強度行動障害がある方への支援についての関心の高さを感じております。

また、強度行動障害については、厚生労働省においても検討会が実施され、地域で支援できる体制整備が検討されているところでもあります。

京都府といたしましては、行動障害があっても住み慣れた地域で住み続けられるよう、必要な支援を行うべく、努力してまいりたいと考えておりますので、関係者の皆様におかれましては御協力いただきますようお願いいたします。